

平成28年度 日本風景街道九州ルート 年間優秀活動 別紙-2

ルート名 : 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”

活動名 : 九州風景街道サミット

■ 取組み概要

- ・九州風景街道サミットを開催し、日本風景街道に登録されている九州ルートの代表(5ルート)が集まり、パネルディスカッション形式により、それぞれの活動状況やまちに対する想いを発信
(テーマ : 「風景街道の活用と今後の展望」)
- ・北九州風景街道を含めた風景街道の認知度向上及びルートの魅力PRに資する活動であり、また、他ルートとの連携による情報共有を目的に実施。
- ・HPやラジオ等でイベントの紹介を積極的にPR。全体参加者数約150名(うち一般参加者約100名)

■ 取り組みの評価

- ・HPやラジオでイベントの紹介を実施し、風景街道関係者のみならず、約100名の一般の方が参加し、認知度向上に寄与された。
- ・他4ルートとの交流によりルート間の取組の情報共有や、今後、個のルート活動への機運向上にも寄与されている。
- ・このような各ルートが共同で意見交換をすることと、また、今後も継続していくことが重要であることを再認識した。
- ・HPやラジオ等の広報により、風景街道の認知度向上に貢献されている。



平成28年度 日本風景街道九州ルート 年間優秀活動

ルート名 : 九州横断の道 阿蘇くまもと路

活動名 : 新町古町復興プロジェクト

■ 取組み概要

- ・歴史ある街道を掘り起こして磨き上げそして保全しながら、熊本城下町の風情を残す活動を行っている。
- ・今回、地震によって大きな被害を受けた町屋風景を残すため、新町古町復興プロジェクトを立ち上げ、「町屋」の復興活動に取り組んでいる。
- ・また、取り壊された古い「町屋」に残された品物については、蚤の市開催により販売し、その収益金を使い町屋の保存に活用。
- ・これらの活動についてはSNSなどで発進し続け、行政と協働のまちづくり事業として協力を得ながら、町屋を景観資源とした城下町の町並みづくりを推進

■ 取組の評価

- ・若い世代への情報発進としてフェイスブック等のSNSによる情報発信により、新町古町復興プロジェクトの保存活動を広くPRし、「町屋」の復旧に尽力している。
- ・蚤の市の開催により一部を町屋の保存活動のための活道資金として活用し、地域資源を有効に活用している。
- ・これらの活動は、震災による被災を受けた地域における規範となる活動であり、風景街道の活動として、城下町の町屋復興に重要な役割を果たしている。



平成28年度 日本風景街道九州ルート 年間優秀活動

ルート名:別府湾岸・国東半島海への道

活動名:世間遺産を巡るまち歩き

■ 取組み概要

- ・別府市在住の藤田洋三氏が提唱する「世間遺産」について、世間遺産を巡る町歩きを実施。
- ・藤田洋三氏のガイドのもとルート沿線の6パートナーシップでのべ150名が参加(大分市、別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市)
- ・町歩きの後にとりまとめた成果を世間遺産マップとして作成し、県内8箇所の展覧会、道の駅等による 域内に14,000枚を配布し大分のまち並をPR
- ・また、街歩きで撮影した写真をパネルにし、道の駅3箇所など計6カ所に展示。

■ 取り組みの評価

- ・マスコミに3回(TV放送(1回)、新聞(2回))に取り上げられ、町歩きには域外の方から参加があり、広域的な風景街道のPRの成果がみられる。
- ・世間遺産を通じた地域資源の掘り起こしとして今後の活動に期待される。
- ・また、本取組を他ルートへも普及させるための「世間遺産学会」を大分で立ち上げる予定であり、今後も継続して広く普及に努められることへも評価される。

